

【施策】(1)社会教育の充実

主な取組 学習の機会提供の充実

- ・予算の少ない中、常設展示のリニューアルを手作りで整然と見学しやすくされた事を評価します。今後、歴史資料、文献などを分析し、更に新しい情報提供に勤しんでいただきたいです。
- ・リニューアルは大変良かった。

主な取組 資料の収集・提供

- ・5万件も登録し2千件も公開しているというのはすごい。勤務日数からかんがみて当然A評価。それでも学芸員の不足により業務が遅延しているというのはどういうことでしょうか？何が遅延しているのでしょうか？選択と集中も不足？
- ・これらの市民に対する情報提供はどのようになっていますか？「欲しければ訪ねて来い、あるいはホームページに載せてある」になってはいませんか？

主な取組 社会教育に関する情報の提供

- ・ホームページ等のアクセスの解析は出来ているか。どの部分をアクセスする人は見ているか。
- ・西洋館の(Facebookページ)フォロワー数が博物館のフォロワーより多い要因は何か。

【施策】(2)家庭・地域の教育力の向上

主な取組 学校・家庭・地域の連携の促進

- ・食文化ミュージアムの運営の話で、横のつながりの悪さを感じました。学校(教育現場)と博物館がもっと連携してお茶文化の伝承に努めて欲しいです。
- ・博物館に来館しての授業は、博物館までの足の確保が問題になっているのかと推測しますが、「博物館に行く」という生涯にわたる楽しみを知る第一歩として、学年単位の児童・生徒の来館は堅持していただきたいと思います。
また、オンライン授業では、実体験(触る、嗅ぐ…)を持つ子どもへの大きな影響力の全部を肩代わりすることはできません。感染対策としては必要でしょうが、やはり平時は、子ども達に実体験の機会をできるだけ作ってあげたいと願います。
来館に代わる方法としては、たとえば、学校だけでなく地域の子どもの向けイベントや学習会にも、学芸員やボランティアが資料を持って出張して授業する、学校や一般に貸出できる資料セットを用意する、などで地域の教育力をサポートしていただければありがたいと思います。
- ★国際交流協会では、昔の遊び道具をお借りしたり、科学実験ボランティアの方に外国ルーツの子どもの学習会で実演していただいたりした実績があります。
- ・コロナ期間と比べれば様々なボランティア事業や学校行事が行われたと考えられる。
しかし地域との結びつきに関して大きな前進があったと感じない。関心が低い地元住民はそのままの状態であるように思える。日常的に地域に属した催物やマルシェの開催など、今までにない新しい取り組みを求めます。

【施策】(3)青少年教育の充実	
主な取組	体験活動の機会提供
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を行い、体験活動を通しより多くの人に博物館に行って良かったと思ってもらえる事業の展開を図ってください。 ・コロナ後の取り組みとして非常に前向きに様々な事に取り組まれている。しかし一部の人知っている状態にとどまっており、広報的活動が足りていないのではと感じる。YouTubeがあるとのことなので、広告として使用する事や新しい広告場所(浮かびませんでした、すみません)の発見によりもっと多くの人が参加出来るようにがんばって欲しい。 	
主な取組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成
<ul style="list-style-type: none"> ・「ていぐりー」代表 星奈宇香さんのような人材を増し、博物館を活動拠点としてもらえるように取り組みをしていただきたいです。 	
【施策】(4)文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成	
主な取組	文化財保護啓発事業の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとの文化財めぐりは、地域の文化財に対する意識向上のために、大変に有意義な事業だと高く評価したいです。地区に住んでいてもそこで育った住民でないと、なかなか歴史や文化財に触れる機会がありません。文化財保護への予算投入も、地域の理解あつてのことだと思います。さらに、小学校とその地域の文化財とのつながりも深められれば、子どもの親を含めて、もっと関心を掘り起こすことができるかもしれません。 参加者の人数が令和1年に達していないために自己評価が「B」なのかもしれませんが、取り組みの方向性は正しいと思います。今後に期待しています。 ★文化遺産をいかす会では、黒須地区の文化財をめぐる散歩や西洋館をお借りしてのイベントなどを行っています。前を通っていて、なんだろうなとは思っていた」「初めて入った」という感想が多くあります。 	
主な取組	近代化遺産の保存・活用
<ul style="list-style-type: none"> ・よくやっていると思う。 ・遺産の保存、活用は大事な事業で、担当がクラウドファンディング等で頑張ったのでA評価。ただし東町の住人でも、旧黒須銀行はもとより西洋館にも行ったことがない人が結構いる。市トップのPR不足を感じます。これらの遺産は埼玉県全体から見てどの程度の位置づけなのか？さいたま市立博物館の「さいたまの製糸」に、一時全国的に生産量の多かった石川組製糸のことが全く出てこないのは残念。 	
主な取組	埋蔵文化財の保護
<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の調査を実施し、報告書を刊行した、また、調査結果を発信する仕組み整備した、とのこと。素晴らしいことですが、これだけでは市民にとっての還元は不十分で、発信の一つとして3年に一度は産業文化センターなどで市民向け調査報告会を実施するべきだと思います。評価はAとしますが、5年度は報告書→報告会をお考え下さい。 ・地道な活動、ご苦労様です。 ・発掘物の保存と保護法との関連を市民に知らせるために収蔵庫見学会はどうでしょうか。 	

主な取組	博物館施設の充実
------	----------

- ・決定的な不具合が発生する前に、予算がつけばよいのですが…。工夫だけでは乗り越えられない問題ですが、今のところ、博物館の外の立場から見て「予算がなくて寂れている」とは感じません。これは職員の皆さんの多大なご努力のおかげだと感謝申し上げます。
- ・館庭の適切な使用の状況については、協議会でご報告いただければ幸いです。
- ・短期的に予算が大幅に伸びることは考えにくい状況です。優先度が高く世の中に強くアピールできる改修は、クラウドファンディングやふるさと納税、収益事業の実施(公的な立場で収益事業ができるかどうかは知りませんが)等、通常の予算獲得でない資金の獲得も視野に入れて、設備の充実を図ってください。
- ・新しく作られた部分もとてもよかったが、音という情報が無くさびしく感じる。もしまたリニューアルすることがあればデザインに重きを置いて取り組んでほしい。単にパネルを作成するだけではなく、物に触れることが出来たり体験することが出来たりと、展示の形にとらわれない方法を模索してほしい。

全体評価(自由意見)

- ・博物館として終わるのではなく、地元住民が集まる事が出来るより楽しい施設への追及を期待しています。
- ・出来るか分かりませんが、(民間だから出来るのでしょうか)京都壬生の八木家のように、展示を見る＋お茶が飲めるチケットのような、展示にプラスの価値をつける方法があればいいなと思いました。
- ・「茶の博物館」などと自らを小化して茶畑のある宮寺二本木地区の人向けの館になってきていないか。現状では市民の半数以上を占める豊岡地区には茶畑は無いし、あまり関心も無い。豊岡地区の人々の日頃の生涯学習ややすらぎの博物館にもならなければ、市民にとって費用対効果が無く予算も取れない。たまの美術展や写真展があっても来られない人が増えている。博物館を身近にするために市民をシャッフル出来るような足(交通の便)も必要と思います。
- ・「食文化ミュージアム」をてこに、常設展のお茶部分のリニューアルをぜひ実現しましょう。

<外部点検評価を受けて>

- 令和4年度は、まだ新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの事業運営を必要とした時期でありました。そのような状況下で、開館以来初めての常設展示室の部分リニューアルを学芸員の手作りで実現出来たことについて評価いただけたことは嬉しいところです。
- また、旧黒須銀行の復元修理に向けて入間市として初めてのクラウドファンディングに取り組んだこと、そして目標額を上回る成功で達成したことも大きな出来事でした。どちらも厳しい財政状況を踏まえてのことであり、委員の皆様からご提案や応援のご意見をいただきました。これらを励みにして一層博物館業務に取り組んでいきたいと思っています。
- その反面、令和4年度末に文化庁から認定された「食文化ミュージアム」としての入間市博物館や、「100年フード」に認定された狭山茶に関する取り組みについては、私たちのこれからのPRや事業連携についてご指摘をいただきました。これについてはしっかりと課題として受け止め、「狭山茶の主産地」であり「狭山茶発祥の地」である入間市について、博物館として深く、関係各所と連携して広く、事業展開していけるように指定管理者とともに努めていきたいと思っています。